

令和元年

雲南市議会9月定例会  
一般質問通告一覧表

【一般質問日程 令和元年9月6日～9月10日】

令和元年雲南市議会 9 月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	9/6(金) 9 時 30 分～	5／原 祐二	一問一答	1～2	11	9/10(火) 9 時 30 分～	9／佐藤 隆司	一問一答	17～19
2		8／細木 照子	一 括	2～4	12		10／藤原 政文	一問一答	19～21
3	9/6(金) 13 時 00 分～	15／藤原 信宏	一問一答	4～6	13	9/10(火) 13 時 00 分～	4／中村 辰眞	一問一答	22～24
4		18／堀江 治之	一問一答	6～7	14		1／上代 和美	一問一答	24～26
5		21／周藤 正志	一問一答	7～8	15		3／松林 孝之	一問一答	26～28
6	9/9(月) 9 時 30 分～	2／中林 孝	一問一答	8～9					
7		20／深田 徳夫	一問一答	9～11					
8	9/9(月) 13 時 00 分～	12／土江 良治	一問一答	11～13					
9		16／堀江 眞	一問一答	14～16					
10		14／細田 実	一問一答	16～17					

令和元年雲南市議会 9 月定例会 一般質問通告一覧表

令和 1 年 9 月 2 日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	5	原 祐 二 (一問一答)	1. 総合計画・総合 戦略について  2. 農業振興につい て	<p>(1)前期計画の総括（定住基盤の整備）について</p> <p>① 定住基盤の整備（子育て、住まい、移住・定住、仕事分野）について、重要成果指標（重要K P I）9 項目の前期計画期間の総括（見込み値・成果・反省）を問う。</p> <p>② 合計特殊出生率など重要K P I のうち、地域（中心部と周辺部、街部と農村部など）により達成度に大きな差が生じていないのかを問う。</p> <p>③ 達成度において、大きな差がある項目があればその要因を問う。</p> <p>(2)後期計画（定住基盤の整備）の策定について</p> <p>① 前期計画の総括による、分野ごとの目的と重要K P I の設定について問う。</p> <p>② 総合計画と関連する計画（子ども・子育て支援事業計画など）との策定スケジュールと施策調整について問う。</p> <p>③ 後期計画の策定による、定住基盤の整備に向けた決意を問う。</p> <p>(1)日本型直接支払事業について</p> <p>①本市における、中山間地域等直接支払交付金、多面的機能支払交付金、環境保全型農業直接支払交付金の取り組み状況（面積、組織数）を問う。</p> <p>②中山間地域等直接支払交付金における協定の広域化について、制度と現状について問う。</p> <p>③中山間地域等直接支払いに係る集落協定（5 期）への取り組み姿勢について問う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 情報通信技術 (ICT) の活用 について	<p>(2) 農業農村整備事業について</p> <p>①本市における事業の実施状況と役割・成果を問う。</p> <p>②今後の事業見込みと事業スケジュール、事業実施に向けたポイント(課題、地元の体制構築等)を問う。</p> <p>(3) 農業用ため池の届け出制度(令和元年7月1日施行)について、制度の目的や届け出の手順、改修工事へのメリット等を問う。</p> <p>(1)本市における情報通信技術(ICT)の活用状況について問う。</p> <p>(2)今後の活用と第5世代移動通信システム(通称5G)社会へ向けた取り組みを問う。</p>	
2	8	細木照子 (一括)	1. 公立学校の教員の配置について  2. 学校のブロック塀の安全対策について  3. 食料自給率について	<p>(1)今年6月現在、島根県内の公立小学校、中学、高校で「育児休暇や病気休暇」の教員の後補充が未配置の学校があることがわかった。市は、後補充対応が出来るようになっているか伺う。</p> <p>(1)昨年の6月に発生した大阪府北部を震源とする地震による学校のブロック塀の倒壊事故を受け、文部科学省は全国の学校設置者に対しブロック塀等の安全点検等の要請を行った。新聞報道によると、今年の4月時点、全国で約20%の9,434校が確認出来ていないと言われている。市の状況を伺う。</p> <p>(1)2018年度の食料自給率がカロリーベースで過去最低となった。食料自給率が過去最低水準に落ち込んだ事に、与野党共に危機感を強めている。菅官房長官は「消費者のニーズに対応した麦、大豆などの生産拡大等の取り組みを続け、自給率向上を図っていきたい」と述べられた。しかし、農業関係者は政府・与党に対して「時間がない。本当に十分な論議が出来るのか」と懸念の声が少なくないという。雲南市としての判断と、必要だと思われる対応等について、</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 市の食育について	見解を伺う。 (1)2018年度の「食育白書」は食を巡る危機的な状況を浮き彫りにした。特に深刻なのが、朝ご飯を食べない子どもの増。食をおろそかにするのは、命をおろそかにすることに等しいと言われている。この様な基本的な事が、特に子ども達に届いていない。そのまま大人になって、親になってしまう。市として、この現状をどの様に受け止め、どの様な対応が必要だと思うか伺う。	
			5. 原子力発電の安全対策について	(1)わが家では、「今の原子力発電は、鶏小屋でライオンを飼うようなものだ」と言うのが、福島第一原発事故以前から続いている。福島原発事故で、その感を強くし、早く小屋の壁を強固な檻並に補強をしないと、ライオンが怒り暴れれば楽々と金網の壁は破られるとされている。原子力規制委員会が、再稼動した原子力発電所に追加の安全対策を求める例が相次いでいる。鶏小屋の壁は、本当に強固に出来るのか。	
			6. あおり運転防止について	(1)数年前までは、警察の交通指導・取締りとして、警察官が道路へ出て、具体的な交通指導等が行われていた。一時停止違反、スピード違反取り締まりは、嫌がられてはいたが、安全を守らせる効果は大変大きかったと思う。これからも警察官がもっと道路へ出て、各所で指導していただけたら、事故が減ると思うが、見解を伺う。	
			7. 有害鳥獣被害について	(1)以前にワイヤーメッシュを無料貸与されて、イノシシ等の被害は大幅に減った。しかし、まだ完璧に防御が出来ておらず、イノシシ、タヌキ、アナグマ、アライグマ、ヌートリア等の被害は農家を困惑させている。防除の指導・支援がないと、農家はだんだんと土俵際へ追い詰められる。更なる指導・支援を検討願いたい。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			8. 年金生活者支援 給付金について	(1)年金収入が少ない等の要件を満たすと、年金生活者支援給付金が支給される。対象者には、日本年金機構から手続き書類が送られるが、高齢になると書類対応がむずかしい場合がある。 市としても、より分りやすい方法で繰り返しの支援が必要と思うが、見解を伺う。	
3	15	藤原信宏 (一問一答)	1. 民生委員・児童 委員の活動環境の 整備について  2. ゴルフ場利用税 の活用について	(1)今年度は民生委員の一斉改選であり、お願いにあたる方は非常に苦勞されたと思う。無給のボランティアの上に負担は増して、成り手が不足している現状である。民生委員・児童委員の高齢化、成り手不足に対する市の認識とその対応についての考えを伺う。 (2)委員の補助的業務を行う「協力員」を設置する、或いは各地域で民生委員の活動を支える福祉委員等と連携した仕組みを構築するなど、引き受けやすい支援体制の強化が必要と考えるがどうか。 (3)成り手不足解消の一手として活動費、報償費等の待遇改善が必要と考える。支給基準のない市の独自支給「報償費」について幾分でも引き上げることはできないか。 (4)活動費等に係る交付税算定基礎額の増額や支援体制充実などの財政支援の強化、調査書・意見書の限定、活動記録の簡易化などの負担軽減について、市長会を通じて、国や県の関係機関 に対し具申すべきと考えるが、市長の所見を伺う。 (1)時代の流れや課税の趣旨にそぐわないゴルフ場利用税の廃止・存続についての市長の見解はどうか。 (2)ゴルフに対し、利用税＋消費税、同じような税が2つかかることについての見解はどうか。 (3)利用税交付金はゴルフ場存続あつての収入である。普通交付税	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. ごみ処理行政について	<p>の基準財政収入額に算入されない 1/4 の額の範囲内でゴルフ場の環境整備やゴルフスポーツ振興策を講じて支出・補助して良いと考えるがどうか。</p> <p>(1) 可燃ごみ処理の新施設整備の規模や処理方式の考え方と計画スケジュールについて伺う。</p> <p>(2) 新施設は、規模や資源循環の観点、効率・コストの面から、熔融処理による廃熱発電、また焼却方式の RDF 化など、どの方式が適当と考えるか。RDF は引き継がれるか、評価・検証について伺う。</p> <p>(3) 燃やせるゴミの範囲を広げ、住民の利便性と最終処分量の削減を図ることも考慮すべきと考えるがいかがか。また、新施設での刈り草の取り扱いは念頭にあるか。</p> <p>(4) 令和 4 年度から雲南エネルギーセンターでの統合処理となり飯石エリアについては分別方法が異なってくる。新しい分別方法について周知し、徹底することへの対策はどうか。</p> <p>(5) 次期の最終処分場についても計画が急がれるが準備状況はいかがか。</p> <p>(6) 生ごみ排出量の抑制も重要だ。とりわけ可燃ごみの 40% を占める生ごみの減量とリサイクル推進のため、生ごみ処理容器購入を推奨し、補助制度を復活する考えはないか。</p> <p>(7) 家庭用ディスポーザーは技術が進歩し、下水道への影響は殆どない。設置推進の考えはないか。</p> <p>(8) プラスチック問題が地球規模に発展している。サーマルリサイクルと称し、大量の廃プラを焼却し、二酸化炭素を出し続ける行為に対する見解を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(9)野放図に作り使われ捨ててきたプラスチック、今後は植物由来の代替素材による製品の利用のあり方を考えること、利用者である市民の消費者教育・環境学習に使い捨てプラスチックを極力使わないという考え方を取り入れる必要がある。所見を伺う。</p> <p>(10)プラスチック包装が定着している小売業界、また製造業界にどのような影響が予測されるか。</p> <p>(11)犬の糞の片付け・持ち帰りについて、啓発とポイ捨て防止条例の周知徹底を図る必要があると思うがどうか。</p>	
4	18	堀江治之 (一問一答)	<p>1. 第2次雲南市総合計画について</p> <p>2. 改正健康増進法について</p>	<p>(1)第2次雲南市総合計画が本年度で10年間計画の前半が終了するが、この5年間の取組みについてどのように評価されているのか伺う。</p> <p>(2)まち・ひと・しごと創生、雲南市総合戦略にも掲げられた「人口の社会増」の取組については、どのように評価されているのか伺う。</p> <p>(3)令和2年度より10年計画の後半5年間がスタートするに当たり、どのような基本姿勢で取組む考えか伺う。</p> <p>(4)後半5年間の取組み方針に新たな取組みの考えはあるのか伺う。</p> <p>(5)令和6年の目標人口の36,500人の変更の考えはないのか伺う。</p> <p>(1)本年7月1日より「改正健康増進法」が施行され、行政機関等敷地内禁煙となったが、雲南市としてはどのような対応がされているのか伺う。</p> <p>(2)たばこ税の税収が年々減少傾向にあるが、財源確保の立場である総務部・健康増進の立場である健康福祉部の所感を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 下水道事業の地方公営企業会計移行について	<p>(1) 令和2年度より生活排水処理事業特別会計の内一部が地方公営企業法の適用を受けることとなるが、その準備状況について伺う。</p> <p>(2) 3条の収益的支出予算となる減価償却費はどの程度の額となるのか、又その財源はどのように対応する考えなのか伺う。</p> <p>(3) 4条の資本的支出予算の内企業債の償還額はどの程度となるのか、又支出総額はどの程度と見込んでいるのか伺う。</p> <p>(4) 4条の支出予算額に対する不足する額をどの程度と見込んでいるのか、又財源について伺う。</p> <p>(5) これまでの特別会計に残る排水処理事業は、今後どのような対応となるのか伺う。</p>	
5	21	周 藤 正 志 (一問一答)	<p>1. 市役所の組織体制について</p> <p>2. 環境対策について</p>	<p>(1) 総合センターのあり方についてどう考えているのか。(特に木次、三刀屋)</p> <p>(2) 全体の業務量は増えているのか。またそれに見合う適正な人員配置がされているか。</p> <p>(3) グループ化、フラット化の成果は出ているか。問題点はないのか。</p> <p>(4) 定員管理計画をどう見直していくのか。</p> <p>環境基本条例、環境基本計画、一般廃棄物処理計画の策定を踏まえ</p> <p>(1) 市や市民が取り組まねばならないプラスチックゴミ対策は何か。</p> <p>(2) レジ袋削減は進んでいるのか。</p> <p>(3) 食品ロスや食料廃棄物の削減に向け市や市民はどう取り組まねばならないか。</p> <p>(4) 可燃ゴミの広域処理化について、どのような視点で検討するの</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. こどもの安心安全対策について</p> <p>4. 飛躍の10年の振り返りにあたって</p>	<p>か。</p> <p>(1)ブロック塀の調査結果と対策はどうなっているか(学校、公共施設、通学路)</p> <p>(2)遊具の点検は誰が行っているか。また、安全は確保されているか。</p> <p>(1)市長の中間総括を伺う。</p> <p>(2)まちづくりの3本柱とプラチナ社会及び総合計画・総合戦略の整合性についてどう考えればよいのか。</p> <p>(3)人口減少に歯止めがかけられない中、マイナス面の影響が出てくることになる。将来的に行政サービスと市民生活の水準が維持・向上できるのか。</p>	
6	2	中 林 孝 (一問一答)	<p>1. 清嵐荘について</p> <p>2. 産業振興について</p>	<p>(1)現在の予約状況について伺う。</p> <p>(2)開業に向けた準備は万全か。</p> <p>(1)本市における農業振興をどう進めるか。</p> <p>①本市の農業は産業と言えるか。</p> <p>②小農で生活ができるか。</p> <p>③今後の農業の進め方、方向性について伺う。</p> <p>④産業振興センターの活用も必要ではないか。</p> <p>(2)神原企業団地の企業誘致は進んでいるか。</p> <p>(3)中小企業対策は十分か。</p> <p>(4)本市における林業振興をどう進めるか。</p> <p>①SDGsと林業についてどう考えるか。</p> <p>②森林環境譲与税をどう生かすか。森林整備計画や森林組合等とどう関連させるか。</p>	



質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 教職員の働き方 改革について	<p>り、全国でも 46 位という。市のテストを含めて実態は、委員会で説明があったが、改めて開示願いたい。</p> <p>(2)現時点の正答率から問題があるとすれば何処か。改善の見解を伺いたい。</p> <p>(3)新聞を読む子ほど学力の正答率が高いとの分析がある。是非とも新聞を読む習慣など家庭学習に合わせて学校でも奨励に取り組んでいただきたい。学校での指導について伺う。</p> <p>(4)質問紙調査によれば、雲南市の児童生徒は、全ての教科においても勉強が好きで、勉強はよくわかるとの回答であり、意欲のある子供が多いと感ずる。しかし、結果に結び付いていないが、どこに問題があるのか。</p> <p>(5)テスト結果が全てではないが、詳細は分析中と伺っている。徹底的に分析し、どの学校も共通認識を持つことが大切ではないか。</p> <p>(6)市政懇談会の資料の中で、子どもチャレンジの主な成果指標、ふるさとが好きな子ども(小学6年)の27年実績94.6%が30年度は88.4%に低下している。この実態をどう受け止めておられるのか。</p> <p>(7)特にふるさと教育は、将来もふるさとに誇りと愛着を持ち続ける子供の育成だが、先の実態から、ふるさと教育が生かされていないのではないか。現在の取り組みと今後の展望は。</p> <p>(1)文部科学省は、夏休み期間中に長期間の学校閉庁日などを設けるなどして、教員の休日を確保するよう通達された。教職の魅力を高めるためにも休日を設け、積極的な研修は減らせとの内容でもあるようだが、本市教育委員会として、この通達をどう扱われ、市の教職員は昨年と比較してどうであったか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. ICT 化の教育について	<p>(2)教職員の働き方改革は、教職員の業務の軽減によって指導力の向上などが主眼であるが、保護者や地域住民は、部活や研修の軽減などは児童生徒の学習に影響するのではないかとの懸念もあるが、教育委員会はどのように教育現場と整合されるのか。</p> <p>(1)学習指導要領の改訂のポイントがICT環境整備とICTを活用した学習である。2020年度から小学校で、必修化となるプログラミング教育の意義をどう捉えてどう生かしていくのか。</p> <p>(2)ICT環境整備とICTを活用した学習、この必修化の小学校でプログラミング教育は誰がおこなうのか。先生方は全員がこの指導に当たられるか。</p> <p>(3)どの教科の授業のプログラムが必修化なのか。今の子供はスマホ・パソコンの使い方など長けている。先生が相当な知識を以って、使わせるためのプログラムをつくることをどの授業でどう活用して教育するのか。</p> <p>(4)そのための市内の学校の先生方の研修は、相当進んでいないと子供が先行してしまうのではないかと懸念するが、どの程度進んでいるか。</p> <p>(5)ネット依存の中高生が全国に91万人【2017年厚生労働省調査】うち90%がゲーム障害と言われる。ゲームにのめり込み引きこもり、不登校などが心配される。本市の生徒児童保護者への指導はどのようになされているか。</p>	
8	12	土江良治 (一問一答)	1.雲南省の訪日外国人客(インバウンド)対策の取組	雲南省観光協会は平成29年7月から民間観光事業者と提携して台湾や香港などからの観光客誘致を目指し、課題の洗い出しや対策の検討を始めてから2年が経過した。韓国からの客の大幅減少、そし	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>みの現状と課題</p> <p>2. 尾原ダム湖、湖内川魚保護及び観光振興対策について</p>	<p>て今秋には国民宿舎「清嵐荘」オープンなど、取りまく環境は日々変化してきている。そこで取組みの現状と課題について伺う。</p> <p>(1)外国人観光客は雲南市内ではみない。松江、出雲方面から足を伸ばしていただいていない現状と思われる。ここ2～3年、松江、出雲、雲南の国別宿泊者数はいくらか。これにより取組みを始めた効果を認めることが出来るか。</p> <p>(2)来訪していただくため特に特化した対策が必要と思う。どのような旅行商品で対応しようとしているのか。奥出雲町、飯南町のインバウンド対策は。又そのメニューは何か。</p> <p>(3)この11月下旬市長は米の輸出に関して台湾に向かわれる。そこでインバウンドの促進も力を入れるとしている。1番強力な商品メニューは特に何か。案内看板はもとより多言語音声対応観光ガイドブックと音声ガイドペンの製作など、ガイドの充実は出来ているのか。これが不十分だと市長の招きで台湾からの来訪があっても俗に云う「お客さん呼んだがお茶が沸いていなかった。」となる。大丈夫か。</p> <p>雲南市のシンボルの一つである尾原ダム湖。近年降雨量の減少に伴う水質の悪化(?)対応と周辺植栽計画の進捗状況の現状と課題(竹、クズなど)について伺う。</p> <p>(1)尾原ダム湖は水質浄化の必要性はないのか。近年降雪や降雨が少なく慢性的な貯水量低下が続く。色は黄緑色で湖内川魚は青息吐息ではないだろうか。植物プランクトンの発生は、湖内及び、下流域の川魚への影響について何か変化があるのかないのか。あるとすればその対策は必要ないのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 「さくらおろち湖周辺植栽計画」の現状と課題について	<p>(2)ダム視察の折、水質保全のための噴水を見たことがある。植物プランクトンを抑制するための装置で、それがダム景観づくりにも役立っていたのを記憶している。噴水には表層曝気循環装置と深層曝気装置とあるらしい。慢性的疾患の尾原ダム湖は深層に酸素を供給し有機物の分解を促進させる動きのある後者の装置が素人的には良いと思われる。大きく山肌を出した水位低下はどうしようもないが、水質保全に取り組むべきを国交省に働きかけるべきと思うがどうか。</p> <p>ちなみに山形県のダム湖には高さ 112mの東洋一の大噴水がある。また、宮城県、熊本県には高さ 80m、小さいが沖縄県には 26 mの噴水施設があり、漏れがあるか知らないが、全国には 10 カ所あった。是非噴水設置によるダム景観づくりにも一石二鳥に役立たせて欲しい。</p> <p>平成 22 年度末に完成した尾原ダム湖周辺を名所にと、20 年かけ景観の美化を目指して策定された同計画。もうすぐ計画策定から 10 年が来る。それによると主に伐採地のダム周辺を 3 ゾーンに分け、道の駅やボート、サイクリング競技場が整備される「中心ゾーン」にササベザクラやヤマザクラ、イロハモミジなどを植え、西の雲南市側は「サクラゾーン」、東の奥出雲町側はイロハモミジ、イチョウを配する「紅葉ゾーン」としている。</p> <p>(1)その計画の進捗状況の現状はどうか。また実行組織あるいは事業費の問題等に問題はないのか。</p> <p>(2)植林の難敵は竹とクズ。計画を進めるうえで妨げとなっていると思う。どのように対処されているのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
9	16	堀 江 眞 (一問一答)	1. 周辺地域の憂い について	<p>(1)木次町平田と吉田町田井地区の診療所について</p> <p>①西村先生がご逝去された。今後の体制について伺う。</p> <p>②往診の要望がある。今後往診も可能と聞いた。どうすればいいのか説明を求める。</p> <p>③これからの予防接種・健康診断・要介護認定診断書の作成など行っていただけるのか。</p> <p>④現在、田井・温泉でそれぞれ2週間に一度、一日3時間の診察をいただいている。診察時間を増やすことができないか。</p> <p>⑤両診療所までのデマンドバスの運行が望まれている。旧町の壁はなぜ乗り越えられないか。併せて奥出雲病院・飯南病院への運行が開設できないか伺う。</p> <p>⑥ドクターヘリの要請も多くなっている。専用ヘリポートの設置要望がある。設置するための面積、設置条件を伺う。どんな場所を準備すればいいか。グラウンド内で部分的に芝生化などではだめか。</p> <p>⑦救急車にお願いすることが多い中、救急車の大型化で自宅付近まで車が入らないところが増えた。救急車運行上どのような課題があるか伺う。改善できることはないか。</p> <p>(2)有害鳥獣対策について</p> <p>①現状をどのように認識されているか伺う。熊・イノシシ・鹿・サル・カラスの実情を問う。</p> <p>②特にサルについて、一斉駆除も厳しいという認識を説明された。現状の野生ザルの群れ数とか総数は把握されているか。</p> <p>③学校周辺への出没を放置することは許されない。サル用の大型捕獲檻の設置で効果を上げているところもあると聞く。対策が必要で</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 吉田町内保育所 について	<p>はないか。</p> <p>④サルの出没について、猟友会のハンターの出動は効果的だ。出動手当が必要だと考える。捕れるとは限らない弾代の補填も必要ではないか。</p> <p>⑤（イノシシ対策）猟期の捕獲についても一定額の補助金を出していくことが、頭数の減少に効果的ではないか。</p> <p>⑥狩猟免許取得から3年後でないとは有害駆除ができないという規則は変更が必要だ。</p> <p>⑦EM菌を利用したイノシシ対策の効果はどうか。また模擬銃もサルとかカラスに効果があると聞くがどうか。</p> <p>(3) 県中山間地域研究センター等関係機関との連携した有害鳥獣対策は実施されているのか。蓄積されたものを活用してモデル地区を指定して徹底的に検証していく必要があると思うがどうか。</p> <p>(4) 新清嵐荘の開設について、11月19日にオープンが予定され周辺地域の働き場確保からも期待が大きい。そこで、</p> <p>①職員採用の状況と地元採用やUターン者の掘り起こしなど尽力されているか。</p> <p>②清嵐荘の売りは、かけ流しの湯と自然景観、そして歴史だ。周辺の整備は早期に必要だが現状と整備計画を問う。</p> <p>③出雲風土記に出てくる薬湯だ。パンフレットやネット広報はもちろん国道に立て看板も必要だ。計画されているか。</p> <p>(1) 吉田保育所について、アクセス道路が危険で平地部に移設してほしいという強い要望から吉田総合センターの改修に合わせ合築できないか要望活動を行った。一緒にできないか検討の状況を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 道路整備について	<p>(2) 吉田・田井の保育所とも職員トイレが男女一緒になっている。近頃は男性保育士も勤務し早急の改善が必要だ。併せて園内広場や周辺の除草など環境整備も必要と思うがどうか。</p> <p>(1) 大宝・小木間の道路が通行止めのままだ。このまま廃線にするのか。小木地区が行き止まり集落となる。また入り口も9トン以上の車両通行止めになっている。改良が必要ではないか。</p> <p>(2) 県道の改良について 県道吉田奥出雲線上山地内について、部分的に側溝のふた掛けが行われた。その後の計画はないのか。改良済み区間から町境の間に大型車の進入などで混乱があると聞く。県道でこのような形で残る道路は少ない。幹線道路だ。見通しを聞く。</p>	
10	14	細 田 実 (一問一答)	1. 第2次雲南市総合計画について  2. 清嵐荘の完成について  3. 市の旅費規程等の整備について	<p>(1) 策定の基本的考え方</p> <p>(2) 前期計画の総括と策定ポイントについて</p> <p>①前期計画の実績と見直し課題について</p> <p>②社会・経済情勢の変化と政策課題についての考え方について</p> <p>③人口減少社会と計画づくりについて</p> <p>(1) さまざまな議論の末、計画、完成となったが、健全経営と地域振興（観光など）は一体と考えるが、現在までの取り組み状況と、今後の取り組みについて。</p> <p>(2) 広域的な取り組みと連携について</p> <p>(1) 市が事務局を持つ公共的団体において旅費をめぐる問題が起こっている。</p> <p>①旅費規程が整備されていないことが原因ではないか。</p> <p>②庁内のチェック機能が不十分ではないか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				③国は細かい規定をマニュアルとして共有し問題の発生を防いでいるが整備が急がれるのではないかな。	
11	9	佐藤隆司 (一問一答)	1. 統一地方選挙で の速水市長の政治 姿勢が問題化しな いかについて  2. パワーハラスメ ント(パワハラ)に ついて	(1)6月に質問した市長の県知事選挙に対する答弁では、市長からの謝罪の言葉はなく、市長の選挙時の街頭演説等の言動を自らは肯定されたが、松江市長におかれては、謝罪の弁がされたにも関わらず許されないとのことで、8月22日と23日の新聞報道に至っている。速水市長は、そのことをどう受け止めておられるのか伺う。 ①7月22日の新聞の連合島根の報道で、松江市長の選挙戦の街頭演説に対してネガティブキャンペーン(選挙などで対立候補のイメージを落とすような宣伝)的な点を重要視している報道は、県知事選挙の「しこりや問題」が、今なおあることを紙面で示された。このことに対し、速水市長の見解は。 ②8月23日には衝撃的な「告訴」の報道があり、6月議会で質した「しこりや問題はないか」の答弁で「全くない」と言われ、そのことを信じていたが、現実にはまだあるのではないかな。 ③今なお、世論が黙っていない現実があり、まだまだ、深まるのではないかとの思いがする。次は速水市長の言動が取りざたされるとの憶測もあり、その点については6月に確認したように問題はないとの認識でいいのかな。 パワーハラスメントは、厚生労働省の労働局への相談件数が増加し、被害が深刻化したことで法規制が必要なことから、日本の労働法制において初めてパワーハラスメント(パワハラ)防止対策として法制化がされた。 (1)パワハラの見直しは難しいものと思うが、定義をどう捉えてお	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 雲南市さくらの会について	<p>られるのか。</p> <p>(2) 人権の定義はどうとらえておられるのか。</p> <p>(3) 庁舎内にそうした事案や懸念する事案の有無はどうか。</p> <p>(1) 平成 31 年度（令和元年度）の雲南市さくらの会の総会が開催されていない。また、監査会、理事会も開催されておらず、現状で総会が開ける状況にないと推察するが事務局の不手際はなかったのか伺う。</p> <p>① 総会の開催準備のための監査会をし、理事会を行うのが一般的な手順だ。仮に問題・疑問点があれば、そうした場で解決策を議論されるべきと考えるがなぜ開催されていないのか。</p> <p>② 規約上はどうなっているのか。</p> <p>③ 監査会・理事会が開催されていないことは、会長・副会長・理事・監事・事務局の責任であるが、それぞれの立場で、どのような認識をされていてどこのところが機能していないのか。</p> <p>④ 今後、いつ頃を目途に総会を開催されようと考えておられるのか。</p> <p>(2) 6 月 24 日付けで、さくらの会副会長 5 名から会長に「会長職退任要請（通告）」が送付されているが、その一連の経緯や内容について伺う。</p> <p>① 「会長職退任要請（通告）」は、副会長自ら作成されたと答弁されているが、いつ・どこで・だれが・どのような経過のもとに作成されたものか。</p> <p>② 6 月 24 日の「会長職退任要請」は「通告」とされ、その後 2 回の「会長職退任要請」は「通知」となっている。行政の立場で文書管</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>理として、「通告」と「通知」の違いは何か。</p> <p>③何事にしても初期対応が重要だ。「通告」まですれば小さな事象でも大きな事象に問題化することは想像しやすいと考えるが、事前に両者の見解の相違を質すための会やそうしたことを事務局として会長等に相談されたのか。</p> <p>④事の発端は昨年頃からとあるがいつなのか。</p> <p>⑤その後、「会長職退任要請（通告）」までに、誰がどのような対応をされてきたのか。</p> <p>⑥6月28日の議事録や文書は行政事務として信憑性のあるものとして取り扱われていたか。</p> <p>⑦理事へ説明する機会が開催されたとのことだが、いつ・どこで・だれが・何を目的に・なぜ・どのように開催されたのか。</p> <p>(3) さくらの会の役員（副会長・理事・監事）でもない藤井副市長の不自然な行動について伺う。</p> <p>①副市長は、業務時間に吾郷会長と会われ、退任を促されたとのことだが、具体的に、いつ・どこで・どのような話し合いがされたのか。</p> <p>②業務時間内での行動・言動は、公務中であり私的な行動ではなく、副市長の立場での業務としてされたのではないか。</p> <p>③副市長の立場で独立したさくらの会の人事に関わることは、不当な人事介入と言われても社会通念上、仕方がないと思われるのか。また、他にも人事に関わる同類の不自然な行動・言動はないか。</p> <p>④産業建設常任委員会及び全員協議会の答弁について確認する。</p>	
12	10	藤原政文	1. 第2次総合計画	まちづくりの原点は、誰もが平等で、対等に話し合えることであ	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		(一問一答)	後期計画について  2. 市内高等学校の ありかたについて  3. 雲南市さくらの 会について	<p>る。あらゆる偏見を排除し各種ハラスメントを含め人権を尊重して進めなければ、人口増も地域の活性化もあり得ない。</p> <p>このことに対する見解を伺う。</p> <p>生徒数の減少が進む中、現在、市内にある高等学校の今後がどうなるのか心配だ。生徒数減により一番に心配されるのは、教育の質であり、そのための教職員の確保である。将来を担う生徒たちに質の良い教育が必要だ。そのためには、「統合」も視野に入れて検討すべきだ。</p> <p>例えば、雲南高校という統合校を設置し、大東校舎、三刀屋校舎、掛合校舎のようなことはできないか。島根県教育委員会に提案すべきと考える。見解を伺う。</p> <p>(1)雲南市さくらの会をどう評価しているか。 (2)総会開催ができないという今般の状況についての経緯と今後の対応について</p> <p>①さくらの会会長の全国シンポジウムへの出席状況についての資料にある「昨年頃から出席状況や費用負担などどうなっているかとの声が一部会員からあがっていた」とあるが、その声を誰が聞いて、その声に対し、どのような対応をしたか。 ②全員協議会で示された資料は、副会長の要請によるものか。 ③副市長が個人の立場で会長と2回話されているが、これは副会長からの要請か。 ④その後、副市長が副会長に2回説明をされているが、これは副会長からの要請か。 ⑤理事への説明は、副会長の要請か。また、誰がどのように説明し</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>たのか。</p> <p>⑥最初の退任要請が文書で通知されるまで、市として正副会長の話し合いの場を設けたか。</p> <p>⑦副会長からの退任要請が文書で送付されたことは、市は承知していたか。</p> <p>⑧その退任要請を読まれて、どのように思われたか。</p> <p>⑨理事が参加された回数が、会長並びにご本人と調査結果が違う点について、確認されたか。</p> <p>⑩会長から議事録に異議が出ている相違点について、会長と話し合いをされたか。</p> <p>⑪議事録が2種類あるのは、なぜか。</p> <p>⑫副会長から6月24日付退任要請中、「公務出張の私的旅行、公私混同」とあるが、市の見解は。</p> <p>⑬7月11日付退任要請中、「市当局に関与を求め」とあるが、いつどのような要請があり、どのように対応したか。</p> <p>⑭8月7日付退任要請中、「公務出張とは、社会通念上、用務を終えて職場に帰るまでが出張命令、旅費の範疇であり、私的な時間とは言えない。」とあるが、市としての見解は。</p> <p>⑮全員協議会に示された「調査の視点」中、(1)の「予算が適正に執行されているかどうか」は、誰が、何を調査するのか。</p> <p>⑯全員協議会に示された「今後、事実関係を究明し、正常な会の運営が図られるよう適切な指導を講じる」とは、どういうことか。</p> <p>⑰双方に齟齬ある。第三者委員会に公平な判断を求めることが必要と考える。見解を伺う。</p>	



質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. アフターメダルプロジェクトについて</p> <p>4. 豊岡市とのかかわりについて</p>	<p>までに95%が診断されており、その多くは家族が子どもの眼の異常に気づき受診に至っている。素人でも病状に気づき易い小児がんとも言える。腫瘍が眼球内にとどまっている場合、眼球を摘出しないで、可能な限り残す方針で治療することが多い。そのためには、早期発見が重要なことは言うまでもない。網膜芽細胞腫は「白色瞳孔」や「斜視」の症状が現れるので、これらを乳幼児健診でチェックできれば早期発見につなげることができる。「眼」の項目に「白色瞳孔」を追加してはどうか見解を伺う。</p> <p>昨年12月の一般質問で、「都市鉱山から作る！みんなのメダルプロジェクト」を取り上げた。このプロジェクトは本月3月末で終了した。環境省では4月から「アフターメダルプロジェクト」と題して、スペシャルオリンピック等と連携した回収促進の取組等をスタートした。</p> <p>(1) 小型家電を回収し、資源を見い出すことについては、本市が進める環境施策に即したものと考えるが所見を伺う。</p> <p>(2) アフターメダルプロジェクトの取り組みの中に「スペシャルオリンピックへの支援」が盛り込まれている。スペシャルオリンピックで多くのアスリートの活躍する本市において、「アフターメダルプロジェクト」の積極的な推進に期待したいが見解を伺う。</p> <p>兵庫県豊岡市と本市の共通するキーワードは「コウノトリ」と認識している。</p> <p>(1) コウノトリを縁とした学術的交流は行われていると認識しているが、民間レベルの人的交流は行われているか伺う。</p> <p>(2) 本市と豊岡市の共通点は「コウノトリ」だけではなく、出土し</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>た数や年代の違いはあるが「銅鐸」も共通項目となると考える。似たような環境状況の両市間で友好都市としての交流ができないか見解を伺う。</p> <p>(3)豊岡市では「コウノトリ野生復帰プロジェクト」を地域のチャレンジとされている。本市も生息環境の整備が行われている。一羽から百羽への思いのチャレンジに本市のかかわりについて伺う。</p>	
14	1	上 代 和 美 (一問一答)	1. 市長の政治姿勢 を問う	<p>(1)消費税 10%増税について</p> <p>①安倍首相は参院選後、10月からの消費税 10%引上げについて「国民の理解が得られた」と実施を強行する構えだが、参院選後のどの世論調査でも「反対」が「賛成」を上回っている。これだけ国民の暮らしが行き詰まり、経済も冷え込んでいるのに増税はすべきではない。市長は、増税による市民生活への影響をどのように考えているのか、伺う。</p> <p>②消費税増税は中小企業の営業にも影響してくる。複数税率やインボイス制度の仕組み導入によって混乱が避けられない。この機に事業をやめたいと考えている業者の方がいるとも伺っている。政府は万全の対策をとるとのことだが、制度が複雑なうえに期限も限定されている。効果が薄い対策に巨費を投じるぐらいなら、増税をやめるべきではないのか市長の見解を伺う。</p> <p>③消費税増税は、ますます格差を広げることになる。憲法に基づく課税の応能負担の原則を守って、消費税に頼らない別の道、すなわち大企業と富裕層に応分の負担を求めて財源にすることを国に要望すべきである。市長の見解を伺う。</p> <p>(2)日米F T Aについて</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 脱炭素、再生可能エネルギーへの大胆な転換を</p> <p>3. ゴミ収集問題について</p>	<p>①参院選を避けて日米F T Aが9月末にも合意される動きになった。日米F T Aは、T P P 11、日欧E P Aにつづいて日本の農業に深刻な打撃を与えるものである。農産品の輸入自由化一辺倒の安倍農政を続けていていいのか、市長に伺う。</p> <p>②このまま自由化がすすめば、政府自身が試算しているように、食料自給率は14%に落ち込み、日本の食と農業は壊滅的な打撃を受けることになる。本市においても大きな影響を受ける。日米F T A交渉を中止することを求めるべきではないか。見解を伺う。</p> <p>(1)市は9月補正予算でエネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金を計上し、本格的に地域新電力会社設立の検討に入ることの説明があった。原発に代わる再生可能エネルギーの転換でエネルギーの地産地消をすすめていく施策として歓迎である。発電の可能性検討では、太陽光発電の調査・検討をされることになっているが、自然、生活環境破壊につながるメガソーラーの導入は絶対あってはならない。それを見据えての検討かどうか、伺う。</p> <p>(2)次期可燃ごみ処理施設広域化の検討で、焼却炉の建て替え問題も浮上してきている。全国ではゴミの発電も利用した地域新電力会社もある。ごみの発電を念頭に入れると、発電効率を上げるためにどうしても廃プラスチックを燃焼させなければならなくなり、温暖化対策に反することになる。将来的にゴミ発電を念頭に事業の検討があってはならない。見解を伺う。</p> <p>(1)先般、近年雲南市に移住された方より、「ごみ集積場の申請がなかなか受理されなくて困っている」との相談を受けた。市は人口の社会増を重点政策として掲げている。これから移住してこられる方</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 歴史認識をふまえて、日韓関係の冷静な対応を	<p>が、ゴミの問題で不安に思われることがあってはならない。今回の相談事例に限らず市全体のこととして質問する。</p> <p>①自治会に加入されていない方や移住されてきてゴミ集積場のグループに加わっていない方のゴミ集積はどのように対応されているのか。</p> <p>②今後新たな団地がつくられ、住宅は順次建設されていくことになるが、ごみ集積における何らかのルール化はされているのか。</p> <p>③申請を受理されるときに、今後、ごみの広域化が計画されるので、今回のごみ集積場が将来確約されるものではない旨の念書を書かなければならなかったとのことだったが、本市を望んで移住された方にとって、不安を抱かせることになるのではないか。見解を伺う。</p> <p>(1)日韓関係の深刻な悪化は、地域経済や地域での国際交流に大きな影響を与えている。こういった不安定な情勢のもと、韓国慶尚北道清道郡との青少年の交流をされたことに安堵すると同時に、青年たちが有意義な交流をされたことに希望を感じる。</p> <p>①「徴用工」問題など今日の日韓関係の深刻な悪化は、日本政府が植民地支配への真摯な反省を土台にしてこそ解決の道は開かれる。市長の見解を伺う。</p> <p>②侵略戦争の反省の上に築かれた憲法9条を守る立場に立って、徹底的な話し合いで解決するよう政府に求めるべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p>	
15	3	松 林 孝 之 (一問一答)	1. 人口の社会増について	第2次雲南市総合計画は飛躍の10年としてスタートし、前期5年が経過し後期計画が見直される。人口の社会増に向けた2つの重点	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 緊急時の防災情報について	<p>戦略として定住基盤の整備と人材の育成・確保をポイントとされた。</p> <p>(1)人口の流出が止まらないが、流出先と年齢層、主な理由を改めて伺う。</p> <p>(2)子育て世代をターゲットとした施策はこれまでも具体策として見えているが、周辺部対策とは。</p> <p>(3)行政運営の仕組みの見直しと市職員の育成とあるが、より地域に密着した職員体制が重要と考える。雲南市職員の市外在住者の人数と割合は。また、市内在住の他市町職員の数と割合は。</p> <p>(4)市職員採用時点で人口の社会増に資することを求めるべきではないか。</p> <p>安心安全のまちづくりに欠かせないものは、何といても防災情報であることは言うまでもない。事前に備えることができる災害と突発的に起こる災害は、まったく異なるところから対策がスタートする。</p> <p>(1)住環境の整備において防災は最大の行政責務。線状降水帯によるゲリラ豪雨や地震といった突発的な自然災害発生時の庁内行動マニュアルは作成されているか。</p> <p>(2)熊本地震や、平成26年の広島豪雨において、自治体が定めていた災害マニュアルは機能しなかったとのことである。有事の際、市民が一番必要とするものは正確な情報であり、迅速に伝達されることである。災害規模情報、避難行動情報、避難所の開設は行政が先頭を切って行わなければならない。これまでに全国で起きた大規模災害事例を基に本市内での豪雨・地震発生時をシミュレーション</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 総合計画・総合戦略と都市宣言について	<p>した上で、職員配置まで網羅した庁内マニュアルが必要ではないか。</p> <p>(3)岡山県総社市では市長名で発信される防災情報があり、グループ登録すると直接情報が届く仕組みが実行されている。まさにタイムラグ無しの緊急情報発信である。全市民への情報発信ツールの防災行政無線配備までもうしばらく時間を要するが、即実行できる登録制の防災情報発信ツールとして導入してはどうか。</p> <p>(1) 3つの都市宣言を総合計画に掲げているが、総合計画・総合戦略との関係性、整合性は。</p> <p>(2)市民の認知度をどう把握しているか。</p> <p>(3)総合計画では掲載のみとなっている。都市宣言は市民のしあわせのまちづくりのために行うもので、総合計画の重要な理念のひとつといっても過言ではない。次期総合計画・総合戦略を示すにあたり、「平和、人権、健康」を唱える崇高な都市宣言として、市民の心に根付くよう発信すべきではないか。</p>	